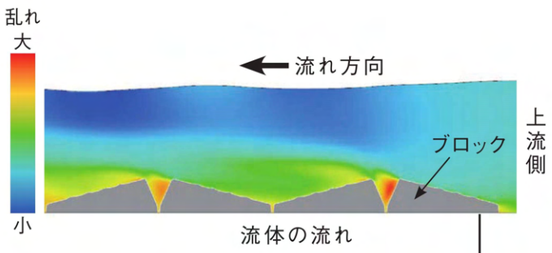
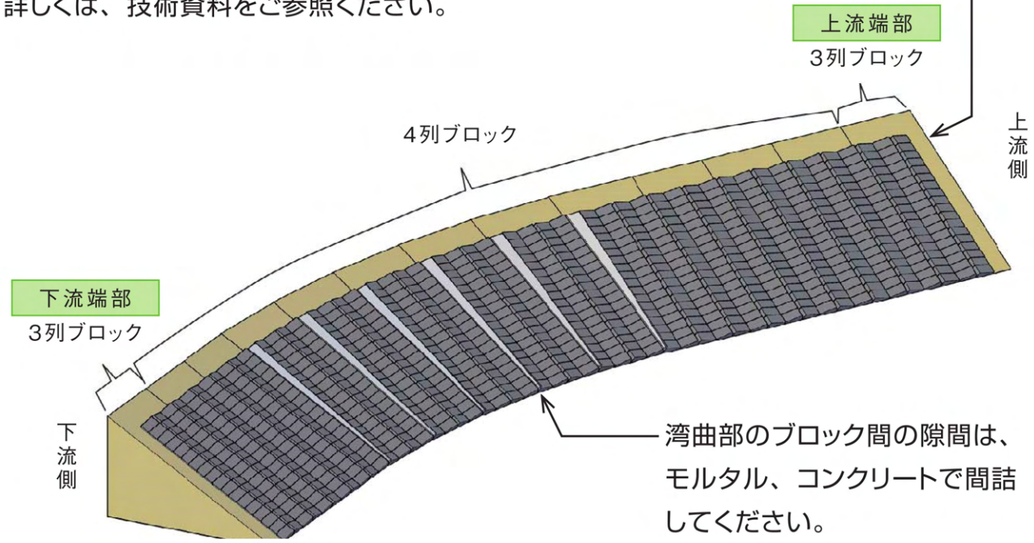
## 設計・施工

本製品は、流れ方向に対して流線形となるようにブロックを配列しています。

３列ブロックのゴビマット™ は、下流端部および上流端部に敷設します。
敷設の向きは、ブロック形状の低い側が下流端部側および上流端部側となります。
詳しくは、技術資料をご参照ください。




湾曲部のブロック間の隙間は、モルタル、コンクリートで間詰してください。

### ⚠ 注意

本カタログに記載する製品の性能数値等は、測定例であり、保証値ではありません。また、記載使用条件を外れて使用され、物的･人的損害が発生しても、当社はその責任を負いかねます。
ご不明な点についてはお気軽にお問い合わせください。


三菱ケミカルインフラテック株式会社

土木・防水補強部　土木資材グループ

本　　社 100-8251 東京都千代田区丸の内１－１－１パレスビル ☎03(6629)1284(直通)
営業エリア ： 関東・甲信越・北陸・中部
北海道支店 060-0807 札幌市北区北七条西４－３－１ 新北海道ビル ☎011(746)6195(直通)
営業エリア ： 北海道
東北支店 980-0014 仙台市青葉区本町１－２－20 KDX 仙台ビル ☎022(261)2315(直通)
営業エリア ： 東北
関西支店 541-0044 大阪市中央区伏見町4−1−1 明治安田生命大阪御堂筋ビル ☎06(6204)8472(直通)
営業エリア ： 近畿・中国・四国・九州・沖縄

三菱ケミカルインフラテックのホームページ　https://mchem-infratec.com/

製品専用ホームページアドレス(下記QRコードよりアクセス可)
https://mchem-infratec.com/doboku/



●本カタログ記載の内容については、予告なく変更する場合があります。
●ゴビマットは三菱ケミカルインフラテックの登録商標です。
●色調については、印刷の特性上、現物と異なる場合があります。
●本カタログから無断転載を禁じます。


取扱店


文書NO.0000148365
2024年12月1日発行(E)

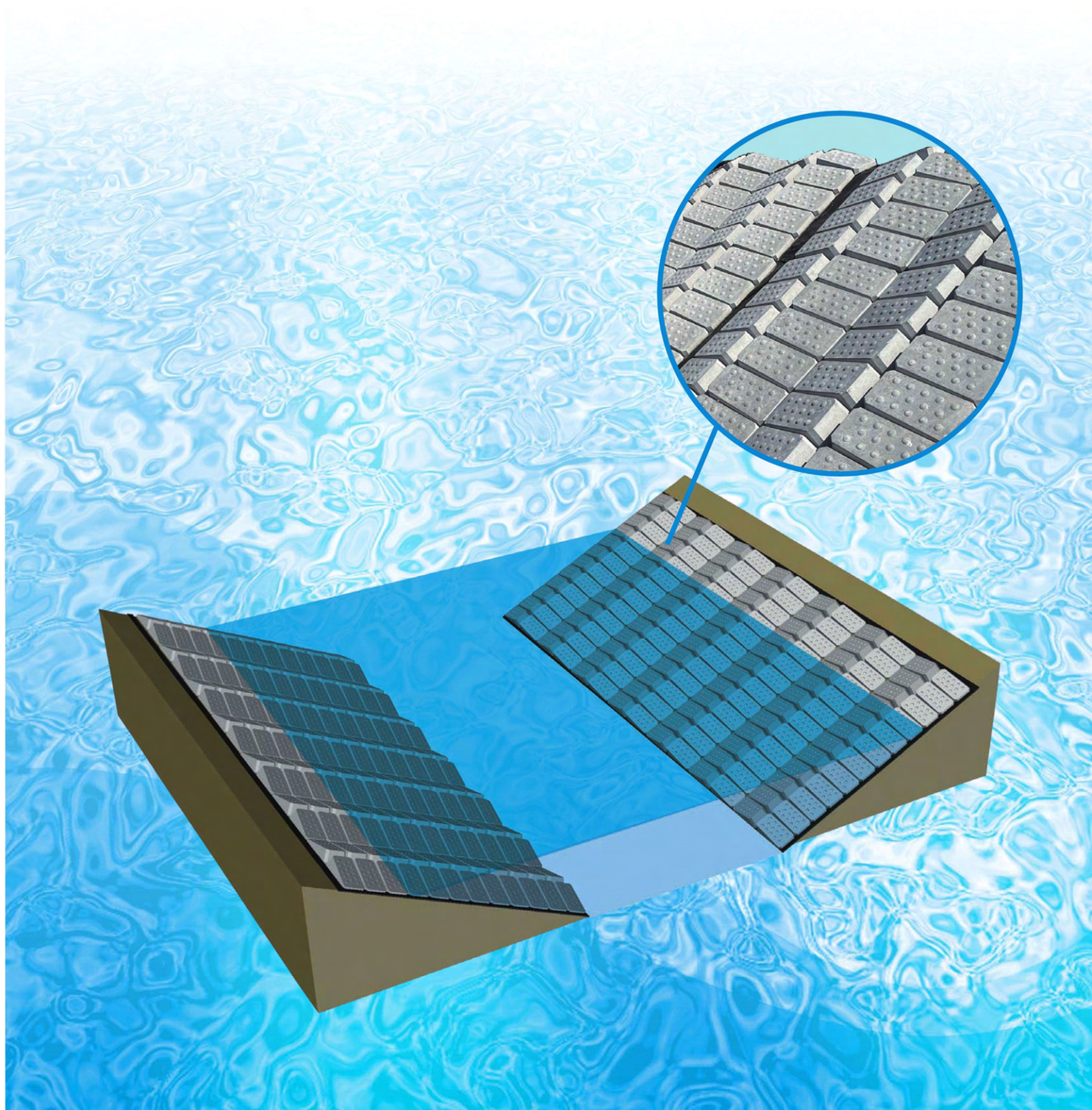

MITSUBISHI CHEMICAL GROUP

三菱ケミカルインフラテック株式会社

高流速域対応型

# ゴビマット™

土壌安定・侵食防止ブロックマット



## 特 徴

ゴビマット™は、ブロックマット工法として、国土交通省等の指針・設計図書に、設計流速4m/sまで適用可能な護岸工法として位置づけられています。

この適用範囲は「施工実績等から求めた目安であり、必要に応じて現地に合った機能的かつ経済的な新工法を採用することが可能である。」また、「設計流速に適用できる合理的な工法は積極的に採用して良い。」と明記されています[1)]。

一方、近年では集中豪雨により計画高水位（代表流速等）を超えて水害が発生しています。これらに対して、より幅広い流速域（5m/s）に対応し、さらなる機能性と経済性を兼ね揃えたゴビマット™を開発しました。

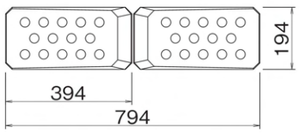
1）国土交通省「美しい山河を守る災害復旧基本方針」平成30年6月

## 標準寸法・規格値

| 項目 | 規格値 |
|---|---|
| ブロック高さ（mm） | 120 |
| ブロック質量（kg/2個） | 25 |
| 製品質量（kg/m²） | 156 |
| 強度（N/mm²） | 18以上 |

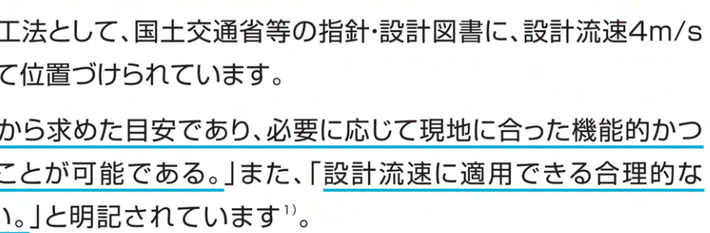
ブロック側面図

ブロック平面図

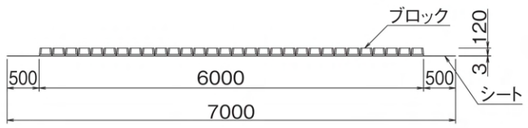



平面図

3列ブロック（上流端部・下流端部）



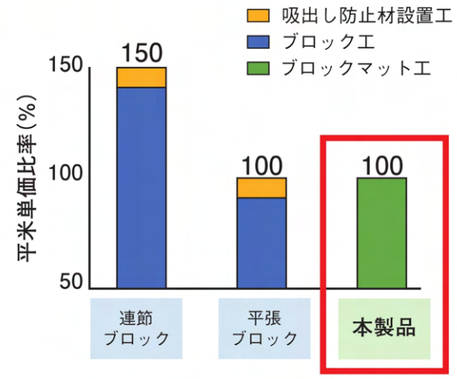

側面図






## 性能・機能

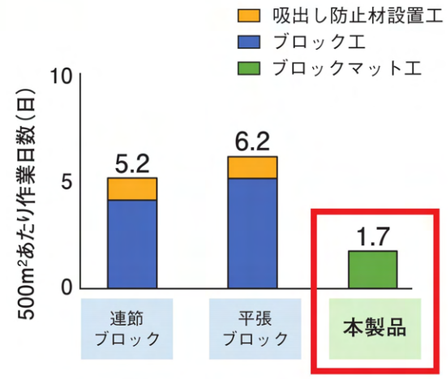
### 特徴① 経済的な工法




高流速域（5m/s）工法の比較 [2)]

（連節・平張ブロックは、最もコストが小さい150kg/ 個未満の製品で比較しています。）

### 特徴② 施工性に優れる

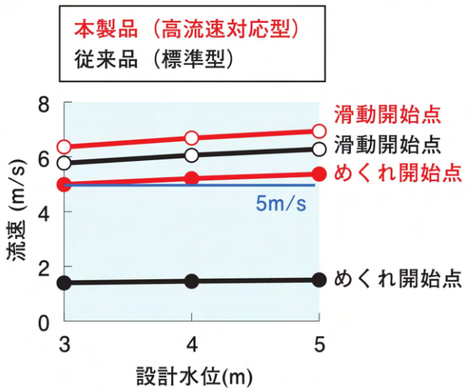



高流速域（5m/s）工法の比較 [3)]

（連節・平張ブロックは、最も作業量が大きい150kg/ 個以上の製品で比較しています。）

2）国土交通省「令和6年度施工パッケージ型積算方式標準単価表」令和6年3月
3）国土交通省「令和6年度作業日当り標準作業量について」令和6年2月

### 特徴③ 耐流体力を有する




### 特徴④ 防滑性の向上

踏み面には突起を設置。

図表は、流れ安定性計算法[4)5)]に基づき、実施工を考慮し、ブロック重量を1/1.3として算出した目安値となります。設計時は、再度計算を照査のうえ、めくれ開始点を下回る場合は、必要なめくれ対策を実施してください。

4）（一財）国土技術研究センター「改訂護岸の力学設計法」平成19年11月、山海堂
5）（公社）全国防災協会「河川災害復旧護岸工法技術指針（案）」平成30月9月